

平成 29 年度 全国学力・学習状況調査結果と分析

新潟県立村上中等教育学校

平成 29 年度の全国学力・学習状況調査が 3 年生を対象に 4 月に実施されました。本校の結果を見ると 4 項目全てで平均正答率が、全国・新潟県を大きく上回っています。また国語については平成 28 年度を若干上回り、数学については下回りました。以下、各教科の分析です。

		生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
国語A 主として知識	新潟県立村上中等教育学校	77	28.6/32	89.0
	新潟県(公立)	17,978	24.8/32	77.0
	全国(公立)	982,511	24.8/32	77.4
国語B 主として活用	新潟県立村上中等教育学校	77	7.9/9	88.0
	新潟県(公立)	17,970	6.6/9	73.0
	全国(公立)	982,619	6.5/9	72.2
数学A 主として知識	新潟県立村上中等教育学校	77	29.7/36	82.0
	新潟県(公立)	17,967	23.7/36	66.0
	全国(公立)	982,811	22.4/36	62.2
数学B 主として活用	新潟県立村上中等教育学校	77	10.1/15	67.0
	新潟県(公立)	17,955	7.2/15	48.0
	全国(公立)	982,786	7.2/15	48.1

〈成果と課題〉

【国語】

平均正答率は、国語Aで 89.0%、国語Bで 88.0%と、いずれも全国・新潟県を大きく上回っている。

A問題については、基礎的・基本的な内容がしっかり身につけていることが分かる。特に、「書くこと」の正答率が高く、自分の考えを書く力に優れている。しかし、「読むこと」について正答率が7割、「伝統的な言語文化」について正答率が5割の問題があった。「読書指導」をより重点的に行うとともに、「楷書と行書」等の日本の言語文化についての理解を深めて行く。

B問題については、「伝統的な言語文化(比喩を用いた表現)」の正答率が7割であった。表現の仕方についての指導を充実させていく。また、話し手の意図をくみ取ることが苦手な生徒も見られた。「聞くこと」の指導が必要である。

【数学】

平均正答率は、数学Aで 82.0%、数学Bで 67.0%と、いずれも全国・新潟県を大きく上回っている。

A問題では、「数と式」領域の正答率が高く、数学的な技能はよく身につけていることが分かる。しかし、「資料の活用」についての正答率が7割であった。度数分布表の読み取りや、簡単な確率の問題について、より理解を深める必要がある。

B問題では、「数量や図形などについての知識理解」について正答率が非常に高く、基礎・基本がしっかり定着していることが分かる。それに対して「数学的な見方・考え方」についての正答率が5割程度であった。基礎・基本の力を活用する力を高めて行かなければならない。